

9月議会より

公共施設の外壁に花こう岩タイルは必要ですか。 健康増進センターの外壁をコンクリートから、花崗岩タイル張りにするため工事価格を3172万円増額変更。私は反対しましたが、賛成多数で可決。

役場庁舎の外壁と同一にして公共施設の外観をグレードアップするためです。健康増進センターと役場庁舎の外観を統一する必要があるなら、役場庁舎外壁をコンクリートにすると、役場庁舎の建築価格が減額になります。



公共施設は、見た目の豪華さより、機能性の視点で建設されるべきでは。

役場庁舎の周りの工事を9228万円で、東急・伊田特定建設工事共同企業体が請け負いました。 東急・伊田特定建設企業体は、役場庁舎を請け負っていたので、その利便上、入札ではなく役場庁舎の外周も工事契約となったものです。建築される予定の野外ステージなどの広場は今回は建設されず、当分砂利敷きです。

嵐山町の抱える負債額は一般会計53億円 下水道会計22億円



起債額の半額以上は、国から町会計に算入されるというのですが・・・比企郡の自治体のうち、抱えている負債額は、嵐山町がトップです。負債額が多いと下水道料金、水道料金、税金等住民負担額が多くなるのは当然。

この夏休み、菅谷小学校では、校舎の天井のコンクリートが崩れるという事故が occurred。幸い夏休み中のことで、子どもに被害がなく、町の責任を問われることはありませんでした。学校施設の安全性の検査を、早急に行うべきです。嵐山町は、道路・公共施設建設は、貧弱です。施設を充実する政策も重要ですが、施設の不足を補うよう、住民意識を満足させる事業を掘り起こしていかなくては、町政が衰退します。

緊急財政確保対策本部を町が設置。 町の財政負担を少なくして、いかに住民要望に応える事業を行っていくかを検討していく場ですが。。。財政難を理由に不公平な政策（町内私立幼稚園の保護者のみに補助金を交付する制度を私立幼稚園保護者に補助金を交付する制度に、納税組合補助金の支出の廃止）等も改めてほしいものです。

学区はどうなっていくのですか。

駅東地区を、新しい行政区にすることは決まっています。その境界は、まだ決まっていないようです。この新しい行政区の学区をどうするかを教育委員会で審議しています。

嵐山町では、平成17年には、人口2万8千人と予定しています。市街地を拡大していくため、拡大市街地は駅東地区、駅西地区、平沢地区、川島地区です。志賀小学校区はわずかの拡大です。七郷小学校区、鎌形小学校区に市街地の拡大は、ありません。今後転入する大半の人は、菅谷小学校区に転居します。

義務教育人口は約3723人になり、約1400人の子どもが増える予定です。これでは、菅谷小学校区に新小学校、新中学

校の建設が必要になってきます。子どもの配分のバランスが崩れてきます。町は、そういう事態になったら学区を見直すとしていますが、学校設備は長期的展望をもって行わないと、子どもがかわいそうです。教育委員会が決定したことに住民を従わせるのではなく、住民も加わって決定していくシステムがほしいですね。



嵐山町の教育予算は多い？・少ない？

町の多くの人と話していて、転居してくると嵐山町の学校教育への金がかけていない点、社会教育の貧しさに驚くという意見を伺います。財政難という理由に住民要望が実現しにくい。施設整備の遅れを補うだけの、ソフト面での対応が充実していれば、住民の失望は転じていくのですが。

	平成6年	平成7年
比企郡一人当たりの社会教育費	9834円	8875円
嵐山町一人当たりの社会教育費	5609円	5289円

道路照明の要望は。 道路照明の要望は、地元区長さんからの申請によって、建設課が設置するかどうか決定します。駅東駐輪場の照明の様に、地元の人だけでなく多数の通行人に道路照明は必要です。道路照明の電気料金は地元負担でなく町負担に。

